

## ふれあい通信

4月号  
第417号

発行: 社会福祉法人 稲城市社会福祉協議会 ボランティアセンター  
 所在地: 東京都稲城市百村7番地 稲城市福祉センター内  
 電話: 042-378-3366(代表), 042-378-3800(直通)  
 ファックス: 042-378-4999 E-mail: vc@inagishakyo.org

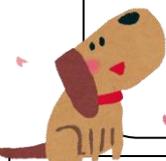
※社協ホームページでもご覧いただけます。

## ふれあいセンターへ遊びに来ませんか

ふれあいセンターは、地域のボランティアが運営しています。登録は不要で無料でどなたでもご利用いただける「地域の縁側」です。

現在は感染拡大防止策を取りながら、それぞれのふれあいセンターで体操、健康麻雀、手芸など様々な活動をしています。

原則ご予約は不要ですが、感染拡大防止のため、活動内容によって定員を設けている場合がありますので、初めて参加される場合は事前にお問い合わせください。



	住所	電話番号	※開館日(4月1日現在)
ふれあいセンター平尾	平尾3-1-3 平尾小学校内	331-5143	月・水・金 10:00~15:00
ふれあいセンター押立	押立410-3 ジョイハウス たまがわ集会室	378-4682	月・水・金 10:00~15:00
ふれあいセンター坂浜	坂浜2996-2 稲城老人会館	331-4501	月・水・金 10:00~15:00
ふれあいセンター矢野口	矢野口1603 矢野口自治会館内	379-7730	月・水・金 10:00~12:00
ふれあいセンター百村・東長沼	百村7 福祉センター2階	378-6320	月・水・金 10:00~12:00
ふれあいセンター向陽台	向陽台3-2 向陽台小学校内	319-2410	水 10:00~12:00
ふれあいセンター大丸	大丸1171 オーエンス健康 プラザ内	370-2284	月・木・金 10:00~12:00
ふれあいセンター長峰	長峰オアシス(ファミリーマート稲城 長峰二丁目店の隣)	331-5555	月・水・第1第3金 10:00~12:30

※新型コロナウイルス感染拡大状況により開館日については変更になる可能性があります。

ボランティア活動者の皆様！更新手続きはお済みですか？

# ボランティア活動保険



ボランティア活動保険は、傷害保険と賠償責任保険がセットになっています。安心してボランティア活動を行うために、万一来るに備えてご加入ください。

## ① 傷害保険

ボランティア活動中はもちろん、自宅と活動場所との往復途中の事故により、ボランティア自身がけがをした場合にも補償します。



+

## ② 賠償責任保険

ボランティア活動中の思いがけない事故により、活動の対象者などにけがをさせてしまった場合、物を壊してしまった場合、プライバシーの侵害等により損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合に補償します。

掛 け 金：お一人 300円（小・中学生の負担はありません。稲城市社会福祉協議会で全額を負担します。）

補償期間：1年間（4月1日～翌年3月31日まで）

※途中加入の方は、加入した日から3月31日までです。

★★更新の手続きが必要になりますのでご注意ください★★

稲城の里山🌳でリフレッシュしませんか

里山🌳さんぽ

気持ちいい初夏の風を感じながら、里山でのびのびリフレッシュ！  
一緒に歩いてみませんか。

稲城駅のほど近くにありながら、豊かな自然が残る貴重な場所「南山」。現在でも様々な動植物が生息しています。南山の保全活動を行っているボランティアグループの方々にガイドいただきながら、木漏れ日の森をのんびり歩きませんか。機会が合えば、炭焼き釜に火入れしている、とても貴重な場面の見学もできます。

▽日時 5月29日（土） 午前9時30分～12時まで※雨天中止

▽内容 南山散策、炭焼き窯見学

▽集合場所 稲城駅（9：30）

▽参加費 30円（保険代）

▽持ち物 水分補給できるもの

▽服装 山道を歩きます。動きやすい服、すべりにくい靴でお越しく下さい。  
（帽子もあったほうが良いです）

▽定員 15人 ※先着順

▽申込み 4月26日（月）から5月26日（水）までの間にボランティアセンターに  
電話で申込み

## ボランティアセンター からの活動レポート



## 福祉体験サポーター 養成講座



3月8日から22日まで、全3回の福祉体験サポーター養成講座を実施しました。

市内の小中学校では、子どもたちが福祉に関心を持ち、理解を深めることを目的とした「福祉教育」を授業の一環として行っています。本講座では福祉教育の際、講師として体験授業に携わるボランティアを養成することを目的に、講義と実技を行いました。

福祉教育の概要や目的を知ることから始まり、車いすや白杖体験の実際についても実技を通して学んだほか、実際に子どもたちが福祉教育で学ぶ点訳の体験もしました。最終回では、これからの福祉教育を見据え、「認知症を学び 地域で支えよう」というテーマで認知症への理解を深めました。参加した4名の方からは、「どの話もとても良い勉強になった。もっと沢山勉強したい」「認知症について、聞く前より身近に感じるようになった」などの感想が聞かれました。

今後はボランティアグループ「福祉体験サポート 一歩」の新しいメンバーとして、福祉教育にお力添えいただきます。皆さん、よろしくお願いいたします！



講座にご協力いただいた福祉体験サポート一歩、六点の会、  
稲城市認知症支援コーディネーターの皆さま、ありがとうございました。

### ボランティアセンターでは次の物を 募集しています!!



#### ●手作りの雑貨

マスク、マスクカバー、布バッグ、ポーチ、学校で使う袋物  
(レッスンバッグ、給食袋、コップ袋、上履き入れ)等  
※レッスンバッグは縦約30~35cm×横約40~45cm程度目安。

#### ●布

(マスクにできそうな素材のもの)

#### ●清潔な包装紙

(レジ袋の代わりに食品を入れる袋として作り直し、  
再利用します)

#### ●大正琴

ありがとうございました



写真右：ゴミカレンダーの点訳物  
(点訳ボランティア 六点の会)

写真左：ふれあい通信の音訳CD  
(音訳ボランティア 声のサークルこだま)

お問い合わせ ☎ 378-3800 vc@inagishakyo.org



◆◆助成金情報◆◆

**みずほ教育福祉財団  
第38回「老後を豊かにするボラン  
ティア活動資金」**

▽助成対象

高齢者のための活動をしている10人から50人程度のボランティアグループで、活動実績が2年以上の団体。本助成を過去3年以内に受けていないこと。

※法人格を有する団体や老人クラブ連合会に加盟しているグループは対象外。

▽助成対象となる活動内容

次のボランティア活動に継続的に使用する用具や機材類の購入費用として助成します

- ① 高齢者を対象とした生活支援サービス
- ② 高齢者による地域共生社会の実現につながる活動
- ③ 高齢者と他世代との交流を図る活動
- ④ レクリエーションを通じて高齢者の生活を豊かにする活動

▽助成金額 1グループ10万円上限

▽応募締切 5月21日(金)(必着)

▽応募方法 所定の申請書に記入後、当協議会の推薦を得て、下記に郵送してください。(申請書はホームページからダウンロードできます)

<http://www.mizuho-ewf.or.jp>

▽問い合わせ先

公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部

Mail FJP36105@nifty.com

電話 03-3596-4532

Fax 03-3596-3574

◇ 4月5月のプチハンス ◇

プチハンスはボランティアの方が講師となり、月1回行っている手芸の講習会です。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底して安全に開催するため、事前申込制とさせていただきます。

ご理解とご協力をお願いします。※新型コロナウイルス感染症の状況により、定員の変更または中止となる場合があります。

①4月 「トートバッグ」②5月「バレエシューズのポーチ」を作ります。

▼日時 ①4月28日(水)②5月26日(水)  
午後1時30分から ※受付 午後1時～

▼会場 福祉センター2階

▼持ち物 裁縫道具

※材料費が若干かかります。

事前申し込み制になります。参加希望の方は受付期間中にお電話にてお申し込みください。

▼申し込み受付期間

①4月6日(火)～4月20日(火)

②5月6日(木)～5月18日(火)

▼定員 各回20人(先着順)

▼申し込み・問い合わせ

ボランティアセンター 378-3800



4月



5月

目の不自由な方へ

点訳・音訳ボランティアグループのご協力により「本紙の点訳物・音訳CD」をお届けします。

お問い合わせは

稲城市社会福祉協議会 ボランティアセンター  
電話：042-378-3800  
FAX：042-378-4999  
メール：vc@inagishakyo.org